

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり

グループの名称 特定非営利活動法人 大工村

直近採択グループ番号 04-0303-0428

(グループ代表者)

代表者名 川合 伯員 代表者印

代表者所属先 株式会社カワイ

代表者所在地 静岡県磐田市合代島1212

代表者電話番号 05-3962-5656

(グループ事務局)

事務局事業者名 特定非営利活動法人大工村

事務局担当者名 伊藤 久道 印

事務局郵便番号 438-0114

事務局所在地 静岡県磐田市合代島1212

事務局電話番号 05-3962-5656

事務局FAX 05-3962-9116

事務局担当者E-mail hito0513@kk-kawai.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	15	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		6	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	6	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	契約物件を優先する。期日を決めて申し込みを受ける。1施工事業者1棟までの申請。3世代同居住宅を優先する。それ以外は公開抽選。枠が余っている場合は、2棟目を受け付ける。以下繰り返し						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	5戸	交付申請戸数	5戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0303-0428	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	28年度までは遠州地方特有の冬の強風による冷気流入を減らす努力を最優先にしてきましたが、最近では夏の気温上昇による暑さ対策も不可欠になってきました。日照時間が日本一長いエリアとしての自覚を持ち、夏涼しく冬暖かい空間づくりの工夫をしていく。地域柄、農家が多く広い土地を持っているご家族への3世帯住宅も積極的に進めていく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	在来木軸の家づくりを一人でも多くの人の目にとめてもらうために、古くから遠州地域で行われている上棟時の「投げ餅」おこない、近隣に住む多くの方に集まっていたき見て、触れていただく。昔からあった神事を極力取り入れ、子や孫の代にも伝えていけるようにする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	今まで通り予想される大地震でも倒壊せず、家の中からの避難経路の動線がしっかりした間取りを提案していく。また、ゼロエネやZEHなどへの取り組みをすすめつつ、高性能断熱やサッシや機器だけに頼ることなく、自然の風や光などを有効的に取り入れるパッシブデザインにも力を入れて誰にでも手が届く快適な家づくりを進める。そのあたりをサポートしてくれる仲間を加え、今後は定期的に勉強会の開催を目指す。	◎
④①～③の背景	今後高い確率で起こる大地震に対しての対策は新築、既存問わず必須です。また、近年の平均気温の上昇や体感気温の体への負担は想像を超えるものになってきました。省エネで快適、耐震性の高い家づくりが求められる中、高嶺の花となつては一般に普及されない家になりかねません。これからは周知を超えて、普及や一般化に向けて地域にあった価格と性能のバランスのとれた誰にでも手が届く家づくりをグループで考えていきます。グループのブランディングをかけていき、一般ユーザー目線で分かりやすい大きな看板を作成しウェブなどを使い告知していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	大工さんの家づくりの家徴でもある手加工の技術の継承のため、手加工に必要な環境づくりと職人さんが育ち、技の継承がされやすい環境づくりを進める。※構成員の中で1200㎡の無料で使える作業場を提供中 また、職人のすそ野を広げるために多くの若者が職人の技や技術を学び、現場で活躍をして生計を立てられる環境づくりにも取り組みます。また、職人の人材不足への対策となりうる職人の多能工化にも取り組む準備を進めています。一人が多くの業種の仕事をできる技術を身につける事により、1現場に必要な人工を抑えることもできるはずです。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員の在庫の寸法を極力絞り込み共通寸法での家づくりをしている	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を積極的に在庫して流通しやすくする	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を積極的に在庫して流通しやすくする	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を天竜材をはじめ国産材3000㎡以上常に在庫して流通の迅速化と価格の安定をしている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 大量仕入れ 物流の効率化により仕入れ先を絞りつつ安価な材料を使うことで管理コストを下げる努力を続けている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心に使用されている㎡数の把握をし、製材所と情報を共有しながら効率的な生産に努めている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅グリーン化事業がすすめる家づくりを1社でも多くの元請け業者が受注しやすい環境づくりを行う。また、仕様や申請など熟知した設計者を1社でも多く迎え入れ役割分担を明確にした家づくりができるグループ作りをしていく。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 適切な施工方法も情報共有や現場での事故やクレーム情報などをグループ内で共有する	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵保険の自己チェックシートの活用を推奨する。事務局が中心となり施工中の現場検査を行い、結果を共有し現場力の向上を目指す。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主が分かりやすい見積もり作成をし、一式の合計金額のみの提示は極力なくす。建築主が分かりにくいと思われるものに関してはカタログや追加資料などを用意していく。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元業者の強みを生かし、顔を合わす機会を増やすイベントを開催しています。ターゲット層が多く集まる場所で構成員との触れ合いや家作り体験を通じてより深い接点の機会を増やしています。定期開催により信用を積み重ねています。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「大工村」をすべてのアクセスキーワードにして『家づくりを通じて強い街づくりに貢献する』強い街とは？地元で強いつながりを持ち、人も技術も育ち継承される。また、ここに住むために必要とされる仕事や教育などすべてのインフラが特徴ある魅力的なものでなくてはならないと感じています。私たちは家づくりを通じて私たちの街に子供たちの笑顔や笑い声が絶えない街づくりにできる事を考えて実行していきます。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

||

||

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0303-0428	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各自の維持管理計画書にて定期的な点検を実施していく。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で情報機関の利用状況などを情報交換して活用していく	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の情報交換システムを使い情報共有する	○
	② メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の点検基準に沿って行う	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各自維持管理計画書に定められたように行う	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アンケート 聞き取りなどにより確認する。	○
	③ 住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年9回程度イベントにてOB施主様中心にメンテナンス相談会を行う	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年9回程度DIY-studioを活用しワークショップなど手作りを通して無垢の木に触れていただくイベント	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員が任意で集まり集合相談会を行っている	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に委員会等の設置を協議する	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局はOB名簿を取得し、速やかに今後のメンテナンス先をマッチングする。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 雨漏り パッシブデザインに関する専門家セミナー開催	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 物づくりや体験がセルフメンテナンスの意識を高めることも期待して、こども工務店という名称で子供たちやその家族を対象に家づくりにかかる業者が集まり体験会をしています。大工さんと上棟式をする。クロス屋さんとクロス貼り体験をする。左官屋さんと左官材を使っての手形づくりをする。などなど、職業体験&DIYイベントを通じて維持管理などへ興味を持っていただけたらと思っています。	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員との協力体制を強化していく	◎	
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループルールはもとより制度や法律を順守して行う。	◎	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当構成員の設計技術者講習受講者が抜き打ちで現場を検査する。	○	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年までに長期 ゼロエネ 未経験ゼロを目指す	○	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工技術者講習技術者を80%に引き上げる	◎	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産性と効率が高い仕組みをグループ内からはもちろん、グループ外からも積極的に取り入れて共	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 26 今年度の参加目標人数 10	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 15	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未取得者を把握して講習会の日程を案内して参加してもらう	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木工事の工期が短縮され、強度が増す工法、商品を積極的に探して採用していく。	○	
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人の多能工化を目指して訓練校を開設予定(ハウスリフォーマー)	◎	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 自然素材で長期にわたり防腐や防蟻効果が続くホウ酸などを壁に隠れてしまう木部になるべく多く採用を検討する。	○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0303-0428	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>主要構造材は無垢の合法木材を使用する。ただし、材の強度・コスト・納期・品質などを考慮して積層の合法木材も可とする。流通構成員は、地域材を積極的に在庫し、施工構成員に使用のはたらきかけをする。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input type="checkbox"/> 50%以上    <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>原木供給⇒製材・集成・合板製造⇒流通⇒プレカット⇒流通⇒施工                  ※合法木材認定を受けた流通業者の証明書類で証明する。                  ※施工構成員が、手加工をする場合、上記のプレカットを省く場合がある。                  ※原木供給が、海外であったり、国有林であったりする場合、原木供給の構成員には含まず、流通もしくは、製材グループに所属する構成員の合法性により証明する。                  ※一部、製材・集成・合板製造から、プレカットに流れる地域材もあるため、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通・プレカットが在庫する。流通より製材に定期的に確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通より施工に、定期的に価格を伝える。著し変動がある場合は、都度連絡する。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定例会を行い、事務局がヒアリングをする。</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳を使った和室の推奨をする</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本の和瓦を推奨する</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合はふすまの採用を推奨する</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合は障子の採用を推奨する</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ふすまがある場合には掛川特産の葛布の採用を推奨する</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築以外の業界との意見交換を積極的に行い地元の伝統を家に生かすことを推奨する</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を積極的に使用するように推奨する。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループと地域の方の交流の場を設ける</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周辺の建物 デザイン 環境にあった仕様の家づくりを推奨する</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お雛様や五月人形を飾るにしても床の間や畳が少しでもあった方がいいことや、若い層から支持される新和風の和室の提案を心がける。</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	ふるさと納税の大きな意義にもあるように、応援したい地域へも力になれる為に構成員へふるさと納税の推奨していく。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	和室がある場合には積極的に熊本のイグサを採用を推奨する ふるさと納税の大きな意義にもあるように、応援したい地域へも力になれる為に構成員へふるさと納税の推奨していく。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0303-0428	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

私たちグループは、主に静岡県西部地区を中心に活動しています。  
この地域は、温暖な地域です。しかし、冬には風が強くて体感温度は低く感じられます。  
そのため、住宅の基本性能である温熱性能を高める家づくりをします。  
ゼロエネルギー住宅では、必達値を上回る、0.59W/m<sup>2</sup>・Kを目標値とします。  
そして、設備機器の性能の良いものを採用することで、CO<sub>2</sub>の排出を削減します。エネルギー削減率27%以上  
またこの地域は、日照率も高いため太陽光発電システムに適しています。  
太陽光発電システムを適量搭載することで、年間の1次エネルギー消費量がおおむねゼロになる家づくりを目指します。